

三杯（サンバイ）

福岡都市圏で注いだコップ3杯の水

そのうち1杯は筑後川で開発された水

福岡導水等を通して福岡都市圏へ送水されている水は、筑後川流域に建設された江川ダム、寺内ダム、合所ダム、大山ダム、小石原川ダムや筑後大堰で開発された水です。

福岡では昭和53年と平成6年に大規模な渇水を経験しました。平成6年は、福岡管区気象台の年間降水量が観測史上最も少なく、昭和53年を上回る厳しい気象状況でした。しかしながら、平成6年の渇水時の給水制限時間は昭和53年よりも少なく、給水時間中の蛇口給水が確保され、給水車の出動もありませんでした。皆様の節水意識の高揚と節水行動、筑後川水系における水資源開発と福岡導水による導水のたまものです。

昭和53年よりも平成6年の方が降水量が少ないにもかかわらず…
水資源開発の恩恵で市民生活に与える影響は軽減！

	年間降水量	給水車の出動台数	1日平均給水制限時間
昭和53年	1,138mm	13,433台	14時間
平成6年	891mm	0台	8時間

※福岡市平均年間降水量 約1,600mm（昭和36年～平成2年）
福岡市水道局ホームページを基に作成
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/mizu/soumu/0053.html>

国土交通省
九州地方整備局
佐賀河川事務所

独立行政法人
水資源機構
筑後川上流総合管理所

佐賀平野での課題である「洪水被害」

「水不足」「地盤沈下」の解決のために

佐賀導水路は、筑後川と城原川を連絡する東佐賀導水路、城原川と嘉瀬川を連絡する西佐賀導水路及び巨勢川調整池等からなり、佐賀平野を東西に横断する全長約23kmの流況調整河川です。洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持と増進（河川維持流量及び河川水質浄化用水）、水道用水（佐賀西部地域）への補給を目的としています。



国土交通省九州地方整備局
佐賀河川事務所HP



独立行政法人 水資源機構
筑後川上流総合管理所
@jwa_chikujyo

筑後川上流総合管理所HP

<https://www.water.go.jp/chikugo/chikujyo>



＜東佐賀導水路＞

延長 約13.2km

＜西佐賀導水路＞

延長 約9.8km



東佐賀導水路

佐賀東部導水路

西佐賀導水路

かせがわ
←嘉瀬川へ

おおたくま
大詫間
幹線水路

はやつえ
早津江川

じょうばる
城原川

筑後大堰

福岡導水

宝満川
ほうまん

有明海

筑後大堰

筑後川

筑後導水路

— 切る — 山折り - - - 谷折り